

浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に
志高く未来を切り拓く生徒の育成」

香美町立村岡中学校通信

No. 14 2020. 2. 12 (Wed.)

「才能の差は小さいが 努力の差は大きい」

継続の差はもっと大きい」

3学期も早いもので半分が過ぎました。3年生は卒業式まであと一ヶ月です。私学受験も10日に終わり、公立推薦・特色選抜入試も17日に迫っています。部活動では、全国・兵庫県・但馬の各大会で好成績が続いています。

私は、勉学も、心の部分も含めた運動面でも素晴らしい自分の将来のために、生徒の皆さんには「質のよい努力」を続け、自分の夢や思いを実現してほしいと思っています。

さて、その「自分の将来」についてですが、自分がこの先どうなるかは誰にも分かりませんし決まっているわけでもありません。決まっているのは、

「自分の将来は自分で切り開いていくものであり、最終的には自分で責任を負うもの」

であるということです。つまり、これから自分自身が何を思い、どうするかで、自分の将来が決まると言っても過言ではありません。

とは言うものの、過日の全校集会でも話したように人はうまくいかない時、自分以外の誰かや環境のせいにしてしがちです。「才能がないからだ」「先生の教え方が悪いからだ」「家庭が悪いからだ」などと責任転嫁し、よく言えば自分を守ろうとします。しかし、人に責任を押しつけるような思考習慣をしている限り自分で努力しようとはしませんから、現状を変えることはできません。もし、責任転嫁するような思いや考えが巡ったら、冷静に自分自身を見つめ直す必要があります。

人が成功するかしないかは、才能の差でなく努力の差、もっと言えば「努力をいかに続けたかの差」によって決まるのだと思います。

「私には才能がないから」というのは、それはやらない言い訳です。「努力は必ず報われる」という言葉は真理であって、真実ではありません。努力しても報われないことも実はたくさんあります。しかし、決定的な真実、やらないことには何も始まりませんし、報われる可能性があるのに報われる芽を摘むことになってしまいます。信じてがんばり続けることが大切です。

ただし、勉強でもスポーツでも芸術でも、最初のうちは「やった分だけ成長する時期」が続きますが、ある時から急に、「やってもやっても目に見える成長がない。」という一時的な停滞状態が訪れます。自分なりに頑張っているのだけれども、なかなか結果が出ずに、「これは無駄な努力なのではないか」「自分には才能がないのではないか」「これが自分の限界なのか」と悩んだり、苦しんだりすることになります。

この停滞期というものは、どんな人にも、あたり前に起きることです。決して「停滞」は自分の「限界」ではありません。ずっと順調に成長し続ける人はいないのです。この「伸び悩みの時期」になるとどうしても自分の能力に疑問を持ち、「頑張っても無駄じゃないか」という心境になってしまいがちですが、飛躍に向けた大切な時期なのだと思えば前向きに捉えることが大切です。これが「限界」と思い、「努力」をやめた瞬間から「成長」は止まるのです。皆さんがこれから



(1/31 入学者説明会)

自分自身を成長させるには、いくつもの壁を乗り越えることが必要です。それには努力と継続以外方法はありません。皆さんに限界などありません。自分を信じて頑張りましょう。

(文責：才田 寛)

全国・県・但馬各大会で好成績！ 中村さん全中連続5位入賞

村岡中生の活躍がめざましく光っています。男子バレー部は県大会で強豪を撃破！ 準々決勝で敗れ、近畿大会出場決定戦では、奇しくも同じ但馬勢の日高東と対戦。好試合の末、惜しくも屈しましたが堂々たる県大会ベスト8でした。男子バスケット部も、1回戦の残り1秒で山田くんの同点劇的シュート！ 延長で競り勝つなど勝利を重ね、但馬大会ベスト4進出を果たしました。男女卓球部も、優勝候補の中村くん、岡本さんが順当に勝ち上がり優勝。2人を含め5人の選手が県大会に出場します。スキー部は全中大会GSLで、中村さんが全国2年連続5位の快挙！ 井上さんも来年に期待をつなげる27位、坂本くんも過去最高の成績を残しました。

ただ結果いかんに関わらず、いずれの部も一生懸命諦めずに取り組む姿勢が有り難いし尊いことです。そして、その純粋に打ち込む雰囲気があるのだと思います。生徒はもちろんのこと、ご支援いただいている保護者や地域の方々のおかげです。ありがとうございます。

★第57回全国中学校スキー競技大会 (2/5~8 長野県野沢温泉スキー場)

【女子ジャイアントスラローム】

第5位 中村 祐希 (3年) 1分17秒68 (39秒68 38秒00)

第27位 井上 真里愛 (2年) 1分19秒46 (40秒41 39秒05)

【男子ジャイアントスラローム】

第69位 坂本 歩崇 (3年) 1分26秒65 (43秒21 43秒44)

【女子スラローム】

第29位 中村 祐希 (3年) 1分57秒79 (1分00秒15 57秒64)

第42位 井上 真里愛 (2年) 2分05秒14 (1分03秒73 1分01秒41)

【男子スラローム】

坂本 歩崇 (3年) 一本目途中棄権



★兵庫県中学校バレーボール男女優勝大会 (2/1・2 和田山中学校体育館)

【男子】

1回戦 VS 三田学園 (丹有) 2-0 (25-23 25-21)

2回戦 VS 南武庫之荘 (阪神) 2-1 (25-16 18-25 25-19)

準々決勝 VS 姫路灘 (中播) 0-2 (22-25 14-25) **ベスト8!**

近畿大会出場決定戦 VS 日高東 (但馬) 0-2 (16-25 22-25)

★但馬中学校選抜バスケットボール大会 (2/1・9 豊岡南・北中学校 出石中学校)

【男子】

1回戦 VS 日高東 35-32 (延長) リーグ戦① VS 城崎 13-53

2回戦 VS 竹野 60-49 リーグ戦② VS 関宮 23-64

準決勝 VS 関宮 33-100 リーグ戦③ VS 出石 29-54

3位決定戦 VS 梁瀬 36-50 **第4位!**

★但馬中学校卓球1年生大会 (2/1 養父市八鹿総合体育館)

【男子個人戦シングルス】

優勝 中村 駿汰

ベスト16 坂本 一虎

【女子個人戦シングルス】

優勝 岡本 華望

第3位 坂本 愛

男女5選手は県1年生大会出場へ

ベスト16 坂本 早紀



★第51回但馬中学校書き初め大会 (再掲 入選・佳作を載せておりませんでした)

優秀賞 中村 駿汰 西崎 咲蔵 西谷 悠希 (以上1年)

特選 小谷 沙羅 (2年)

入選 今岡 功貴 岡田 梨愛 中村 宏聡 (以上2年)

佳作 中村 優月 (3年)

